

Art at the Turn of the Eras: Before and After the Taisho
時代の転換と美術
「大正」とその前後

2019年9月18日(水)～10月20日(日)

和歌山県立近代美術館

出品目録

◇作品の情報を、作者名(よみがな 欧文 生没年)または編者名、作品または資料名、制作年または刊行年月日、技法・材質、寸法(縦×横、または高さ cm、一部版画作品のみイメージ/シート cm)、所蔵註記の順に、ほぼ展示順に従って記載しています。

◇所蔵について表記のないものは当館蔵です。

◇和歌山ゆかりの作家には、作者名の後に*を付しています。

◇都合により展示作品を変更する場合があります。

第1章 自己意識の高まり -自己主張する若者たち-

この時代の美術作品からは、自己意識を高めた若者たちの姿がうかがえます。自分とは何か、自分はどう生きるのか、その答えを探すかのように生まれた表現をご覧ください。

梅原 龍三郎(うめはら・りゅうざぶろう UMEHARA Ryuzaburo 1888-1986)

小川 (ブルターニュ風景) 1909(明治42) 油彩、キャンバス 24.6×32.4 個人蔵

有島 生馬(ありしま・いくま ARISHIMA Ikuma 1882-1974)

樹下の裸婦 1913(大正2) 油彩、キャンバス 52.5×45.5

石井 柏亭(いしい・はくてい ISHII Hakutei 1882-1958)

滞船 1913(大正2) 不透明水彩、紙 52.5×73.0

川上 涼花(かわかみ・りょうか KAWAKAMI Ryoka 1887-1921)

風景 1909(明治42) 水彩、紙 17.7×28.1 北山睦人氏寄贈

保田 龍門(やすだ・りゅうもん YASUDA Ryumon 1891-1965) *

コオニユリのある風景 1912(明治45/大正元)頃 油彩、キャンバス 38.2×46.0 保田春彦氏寄贈

少年 1912(明治45/大正元) 油彩、キャンバス 45.8×60.6 保田春彦氏寄贈

山下 新太郎(やました・しんたろう YAMASHITA Shintaro 1881-1966)

臥婦 制作年不詳(1910年代) 油彩、キャンバス 79.5×140.7 個人蔵

正親町公和 編/洛陽堂 発行

『白樺』第1巻第8号「ロダン号」 1910(明治43)年11月14日発行 冊子体 22.3×15.2

河本亀之助 編/洛陽堂 発行

『白樺』第2巻第3号 1911(明治44)年3月1日発行 冊子体 22.6×15.2

編者/発行者 不詳

『白樺社主催 南薫造有島壬生馬作品 滞欧紀念絵画展覧会目録』 1910(明治43) 冊子体 15.0×12.2

北山清太郎 編/日本洋画協会 発行

『現代の洋画』第2号 1912(明治45)年5月10日発行 冊子体 20.0×16.5

『現代の洋画』第17号「後期印象派」	1913 (大正2)年8月1日発行	冊子体	25.8×18.5	
『現代の美術』第3年第1号	1914 (大正3)年8月5日発行	冊子体	26.4×19.2	
斎藤与里治 編/日本洋画協会 発行				
『ヒュウザン』第1号	1912 (大正元)年11月6日発行	冊子体	26.0×18.5	
北山清太郎 編/ヒューザン会 発行				
『第一回ヒュウザン会展覧会目録』	1912 (大正元)年10月20日発行	冊子体	18.8×12.8	
岸田 劉生 (きしだ・りゅうせい KISHIDA Ryusei 1891-1929)				
男性肖像	1912 (明治45)	油彩、キャンバスボード	32.9×23.6	
黒き帽子の自画像	1914 (大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
高村 光太郎 (たかむら・こうたろう TAKAMURA Kotaro 1883-1956)				
佐藤春夫像	1914 (大正3)	油彩、キャンバス	61.0×45.5	個人蔵
高須 光治 (たかす・みつじ TAKASU Mitsuji 1897-1990)				
自画像	1915 (大正4)	油彩、板	45.4×37.3	
保田 龍門 (やすだ・りゅうもん YASUDA Ryumon 1891-1965) *				
自画像	1915 (大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
母の像	1915 (大正4)	油彩、キャンバス	73.0×60.9	保田春彦氏寄贈
寺中 美一 (てらなか・びいち TERANAKA Biichi 1892-1917) *				
自画像	1916 (大正5)	油彩、キャンバス	45.7×33.6	立石靖子氏寄贈
佐伯 祐三 (さえき・ゆうぞう SAEKI Yuzo 1898-1928)				
自画像	1919 (大正8)頃	インク、紙	29.3×19.0	玉井一郎氏寄贈
萬 鉄五郎 (よろず・てつごろう YOROZU Tetsugoro 1885-1927)				
雪の景	1916~1918 (大正5~7)頃	油彩、キャンバス	50.0×60.6	個人蔵
小林 徳三郎 (こばやし・とくさぶろう KOBAYASHI Tokusaburo 1884-1949)				
風景	1918 (大正7)	油彩、キャンバス	40.8×31.8	
松村 巽 (まつむら・たつみ MATSUMURA Tatsumi 1893-没年不詳)				
静物	1917 (大正6)	油彩、キャンバス	73.0×53.0	個人蔵
林 義明 (はやし・よしあき HAYASHI Yoshiaki 1890-1978) *				
農夫	1915 (大正4)頃	油彩、キャンバス	53.3×41.0	林建樹氏寄贈
大亦 新治郎 (おおまた・しんじろう OMATA Shinjiro 1894-1947) *				
習作 牧き場	1913 (大正2)	水彩、紙	34.3×20.8	
川上 涼花 (かわかみ・りょうか KAWAKAMI Ryoka 1887-1921)				
夕日を受けたる丘	1912 (明治45/大正元)	水彩、紙	17.2×25.5	個人蔵
川上 涼花【推定】(かわかみ・りょうか KAWAKAMI Ryoka [est.] 1887-1921)				
風景	制作年不詳	水彩、紙	20.0×25.5	個人蔵
恩地 孝四郎 (おんち・こうしろう ONCHI Koshiro 1891-1955) *				
海の女	1912 (明治45/大正元)	油彩、キャンバス	45.0×33.3	恩地邦郎氏寄贈
田中 恭吉 (たなか・きょうきち TANAKA Kyokichi 1892-1915) *				
バラの刺	1914 (大正3)	油彩、キャンバス	45.5×33.4	恩地邦郎氏寄贈
藤森 静雄 (ふじもり・しずお FUJIMORI Shizuo 1891-1943)				
花	1915 (大正4)	油彩、キャンバス	33.0×24.0	恩地邦郎氏寄贈
久本 信男 (ひさもと・のぶお HISAMOTO Nobuo 1889-1923)				
和服婦人	大正初期頃	油彩、キャンバス	41.4×27.7	恩地邦郎氏寄贈
田中 二郎 (たなか・にろう TANAKA Niro 生没年不詳)				
[木立のある風景]	大正初期頃	油彩、板	23.7×33.0	恩地邦郎氏寄贈

香山 小鳥 (かやま・ことり KAYAMA Kotori 1892-1913)				
愁	1913 (大正2)	木版、紙	12.4×8.5/14.0×9.2	恩地邦郎氏寄贈
恩地 孝四郎 (おんち・こうしろう ONCHI Koshiro 1891-1955) *				
[一つの貌]	1914 (大正3) 頃	木版、紙	15.2×11.2/28.0×20.7	
田中 恭吉 (たなか・きょうきち TANAKA Kyokichi 1892-1915) *				
「生ふるもの去るもの」(私輯『月映』II)	1914 (大正3)	木版、紙	10.6×8.3/26.4×19.1	恩地邦郎氏寄贈
藤森 静雄 (ふじもり・しずお FUJIMORI Shizuo 1891-1943)				
[黒き心臓]	1914 (大正3) 頃	木版、紙	23.9×16.4/26.7×19.5	
長谷川 潔 (はせがわ・きよし HASEGAWA Kiyoshi 1891-1980)				
ダンス B	1914 (大正3)	木版、紙	30.7×21.2/50.0×37.2	
永瀬 義郎 (ながせ・よしろう NAGASE Yoshiro 1891-1978)				
抱擁	1915 (大正4)	木版、紙	30.2×21.5	
広島 新太郎 (ひろしま・しんたろう HIROSHIMA Shintaro 1889-1951)				
泊船	1916 (大正5) 頃	木版、紙	18.1×21.1/28.8×37.2	
山本 鼎 (やまもと・かなえ YAMAMOTO Kanae 1882-1946)				
ブルターニュの入江	1918 (大正7)	木版、紙	24.3×31.9/25.4×33.1	
岡本 帰一 (おかもと・きいち OKAMOTO Kiichi 1888-1930)				
夕の街路 (『現代の洋画』23号より)	1914 (大正3)	木版、紙	13.9×15.2/18.6×25.8	
五十嵐吾一 編/水壺社 発行				
『水壺』第2巻第4号(表紙:長谷川潔《噴水》)				
	1915 (大正4) 4月1日発行	冊子体	21.6×15.2	
五十嵐吾一 編/水壺社 発行				
『水壺』第2巻第6号(表紙:長谷川潔《ある踊の印象》)				
	1915 (大正4) 6月1日発行	冊子体	21.6×15.2	
瀬戸義直 編/假面社 発行				
『假面』第3巻第6号(表紙:長谷川潔《假面を持てる女》、扉:同《踊れる二人の女》)				
	1914 (大正3) 年6月1日発行	冊子体	22.4×15.0	
松田良四郎 編/假面社 発行				
『假面』第4巻第5号(表紙:永瀬義郎《春》、扉:同《乳房の重さ》)				
	1914 (大正3) 年5月1日発行	冊子体	22.2×15.2	
北山清太郎 編/日本洋画協会 発行				
『現代の洋画』第23号「版画号」(展示頁:岡本帰一《静物》)				
	1914 (大正3) 年2月1日発行	冊子体	25.8×18.5	
恩地孝四郎 編/洛陽堂 発行				
『月映』I (展示頁:藤森静雄《自然と人生》)				
	1914 (大正3) 年9月18日発行	冊子体	25.8×19.0	
恩地孝四郎 編/洛陽堂 発行				
『月映』IV 死によりて挙げらるる生(展示頁:田中恭吉《埋葬》)				
	1915 (大正4) 年1月28日発行	冊子体	26.3×19.2	
恩地孝四郎 編/洛陽堂 発行				
『月映』VI (表紙:恩地孝四郎、展示頁:同《抒情 躍る》)				
	1915 (大正4) 年5月5日発行	冊子体	27.3×20.0	
恩地孝四郎 編/洛陽堂 発行				
『月映』VII SEPARATION [告別](表紙:恩地孝四郎、展示頁:田中恭吉《絢はれゆく 歡喜と悲愁》)				
	1915 (大正4) 年11月1日発行	冊子体	26.2×20.0	

第2章 うつりかわる都市 -たち上がる帝都東京-

新たに現れた都市の風景は、さまざまな画題を提供しています。江戸から東京への移行、関東大震災による崩壊から再び帝都としてたち上がる東京の姿を中心に紹介します。

石井 柏亭 (いしい・はくてい ISHII Hakutei 1882-1958)

『東京十二景』「柳ばし」	1910 (明治43)	木版、紙	33.2×23.7/39.4×29.0
『東京十二景』「新ばし」	1915 (大正4) 頃	木版、紙	38.9×25.7/54.3×42.3
木場	1914 (大正3)	木版、紙	24.2×17.6/25.4×19.8

戸張 孤雁 (とばり・こがん TOBARI Kogan 1882-1927)

千住大橋の雨	1913 (大正2)	木版、紙	49.3×36.1
十二階	制作年不詳	木版、紙	20.9×19.9/48.6×34.8

織田 一磨 (おだ・かずま ODA Kazuma 1882-1956)

『東京風景』「14 上野廣小路」	1916 (大正5)	リトグラフ、紙	40.3×28.5/48.5×33.5
『東京風景』「15 木場雪景」	1917 (大正6)	リトグラフ、紙	27.3×44.4/33.6×48.6

田中 恭吉 (たなか・きょうきち TANAKA Kyokichi 1892-1915) *

山本俊一宛書簡 (二つのころ)	1910 (明治43)	水彩、鉛筆、紙	14.0×9.1	恩地邦郎氏寄贈
ニコライ	1912 (明治45/大正元)	油彩、板	22.0×15.5	恩地邦郎氏寄贈
池袋にて	1914 (大正3)	油彩、板	33.0×23.3	恩地邦郎氏寄贈

香山 小鳥 (かやま・ことり KAYAMA Kotori 1892-1913)

風景	1911 (明治44)	油彩、板	22.7×14.6	恩地邦郎氏寄贈
----	-------------	------	-----------	---------

木村 荘八 (きむら・しょうはち KIMURA Shohachi 1893-1958)

水道橋	1918 (大正7)	油彩、キャンパス	45.5×38.4
-----	------------	----------	-----------

鈴木 亜夫 (すずき・つぎお SUZUKI Tsugio 1894-1984)

帽子をかぶる婦人像	1926 (大正15/昭和元)	油彩、キャンパス	65.5×50.5	鈴木みよ氏寄贈
-----------	-----------------	----------	-----------	---------

戸張 孤雁 (とばり・こがん TOBARI Kogan 1882-1927)

女学生	1920 (大正9)	木版、紙	37.9×25.0/39.5×26.0
-----	------------	------	---------------------

太田 三郎 (おおた・さぶろう OTA Saburo 1884-1969)

カフェーの女 (『現代の洋画』23号より)	1914 (大正3)	木版、紙	21.0×11.3/21.7×12.0
-----------------------	------------	------	---------------------

鶴田 吾郎 (つるた・ごろう TSURUTA Goro 1890-1969)

[失題]	1916 (大正5) 頃	木版、紙	28.3×20.3/34.4×25.5
------	--------------	------	---------------------

平塚 運一 (ひらつか・うんいち HIRATSUKA Un'ichi 1895-1997)

『東京震災跡風景』「あさくさ」	1925 (大正14)	木版、紙	28.3×21.2/32.0×24.5
「国技館」	1925 (大正14)	木版、紙	21.2×28.8/27.6×34.7
「築地」	1923 (大正12)	木版、紙	21.9×30.0/26.3×34.8
「お茶の水」	1925 (大正14)	木版、紙	28.3×20.6/33.5×25.0
「東橋」	1925 (大正14)	木版、紙	21.0×28.7/26.0×32.7
「被服廠跡納骨堂」	1925 (大正14)	木版、紙	20.9×28.7/25.0×33.0
「州崎遊廓」	1925 (大正14)	木版、紙	21.0×28.7/26.0×33.2
「ニコライ会堂」	1923 (大正12)	木版、紙	28.8×21.2/34.9×26.2

小野 忠重 (おの・ただしげ ONO Tadashige 1909-1990)

一九二三年九月一日	1932 (昭和7) 頃	木版、紙	14.2×23.2/15.5×24.2
-----------	--------------	------	---------------------

稲垣 知雄 (いながき・ともお INAGAKI Tomoo 1902-1980)

廃墟 B	1924 (大正13)	木版、紙	14.9×9.7/19.0×14.4
爆破の跡	1923 (大正12)	木版、紙	12.6×17.8/14.4×19.8
関東大震災直後の如水館	1924 (大正13)	木版、紙	20.2×29.4/22.3×31.4

- 川上 澄生** (かわかみ・すみお KAWAKAMI Sumio 1895-1972)
 震災以前横浜山手之図 1923 (大正 12) 頃 木版、紙 18.1×25.8/23.7×30.1
- 恩地 孝四郎** (おんち・こうしろう ONCHI Koshiro 1891-1955) *
 大東京遠望 1929 (昭和 4) 木版、紙 20.6×29.8/22.7×31.0
- 石井 鶴三** (いしい・つるぞう ISHII Tsuruzo 1887-1973)
 『大東京風景』『東京駅夕景』 1928 (昭和 3) 木版、紙 23.8×34.3/27.0×38.5
- 清水 正博** (しみず・まさひろ SHIMIZU Masahiro 1914-2011)
 数寄屋橋より 1933 (昭和 8) 木版、紙 17.9×24.0
- 山口 進** (やまぐち・すすむ YAMAGUCHI Susumu 1897-1983)
 『帝都復興二十五景』『永代橋』 1930 (昭和 5) 木版、紙 24.3×17.9/26.2×20.1
- 諏訪 兼紀** (すわ・かねのり SUWA Kanenori 1897-1932)
 『新東京百景』第 2 輯第 6 号 「丸ノ内仲通」 1929 (昭和 4) 木版、紙 25.0×17.3/27.0×20.7
 『新東京百景』第 4 輯第 1 9 号 「帝国議事堂」 1932 (昭和 7) 木版、紙 25.0×17.3/25.5×19.1
- 川上 澄生** (かわかみ・すみお KAWAKAMI Sumio 1895-1972)
 『新東京百景』第 3 輯第 8 号 「丸の内一景」 1930 (昭和 5) 木版、紙 17.9×24.0/20.6×26.7
- 平塚 運一** (ひらつか・うんいち HIRATSUKA Unichi 1895-1997)
 『新東京百景』第 3 輯第 1 1 号 「数寄屋橋」 1930 (昭和 5) 木版、紙 18.2×24.3/20.0×26.2
- 逸見 享** (へんみ・たかし HENMI Takashi 1895-1944) *
 『新東京百景』第 1 輯第 1 4 号 「牛込見附」 1929 (昭和 4) 木版、紙 18.1×24.0/19.9×26.1
- 恩地 孝四郎** (おんち・こうしろう ONCHI Koshiro 1891-1955) *
 『新東京百景』第 2 輯第 3 号 「英国大使館前」 1929 (昭和 4) 木版、紙 18.1×24.0/21.0×26.8
- 藤森 静雄** (ふじもり・しずお FUJIMORI Shizuo 1891-1943)
 『大東京十二景』 一月・朝の明治神宮 (渋谷区) 1933 (昭和 8) 木版、紙 24.1×32.1/26.2×36.6
 二月・濠端の残雪 (麴町区) 1933 (昭和 8) 木版、紙 24.6×32.3/26.2×36.8
 三月・田園調布の春 (大森区) 1933 (昭和 8) 木版、紙 24.0×32.0/26.6×36.3
 四月・さくらの上野 (隅田川) 1933 (昭和 8) 木版、紙 24.2×32.5/27.0×36.3
 五月・夜の銀座 (京橋区) 1933 (昭和 8) 木版、紙 31.4×24.6/36.0×27.1
 六月・外苑の新緑 (四谷区) 1934 (昭和 9) 木版、紙 24.2×31.6/26.5×36.2
 七月・花火の両国 (隅田川) 1933 (昭和 8) 木版、紙 31.6×24.0/36.2×27.1
 八月・豊島園の夏 (板橋区) 1933 (昭和 8) 木版、紙 24.2×31.5/26.4×36.7
 九月・荒川放水路の秋色 (足立区) 1934 (昭和 9) 木版、紙 24.2×31.6/26.5×34.8
 十月・秋映の帝大 (本郷区) 1934 (昭和 9) 木版、紙 24.2×31.7/26.5×36.7
 十一月・羽田の秋 (東京飛行場) 1932 (昭和 7) 木版、紙 23.9×31.9/26.3×36.3
 十二月・雪の駿河台 (神田区) 1932 (昭和 7) 木版、紙 23.5×31.7/26.6×36.4

第 3 章 欧米との距離 -モダニズムの成熟-

1918 年に第一次世界大戦が終結すると、多くの日本人がヨーロッパに向かいます。西欧で新しい表現に目覚めた画家たちと、日本で自己の表現を深めた画家たちの作品を紹介します。

- 保田 龍門** (やすだ・りゅうもん YASUDA Ryumon 1891-1965) *
 アンドレの首 1922 (大正 11) ブロンズ 高さ 20.3 和歌山県立美術館友の会寄贈
 読書 1921 (大正 10) 油彩、キャンバス 65.5×53.0 保田淳子氏寄贈
- 東郷 青児** (とうごう・せいじ TOGO Seiji 1897-1978)
 静物 1924 (大正 13) 油彩、キャンバス 46.0×38.0

裕 伊之助 (はざま・いのすけ HAZAMA Inosuke 1895-1977) *				
ブザンソン風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	小島善太郎氏寄贈
野長瀬 晩花 (のながせ・ばんか NONAGASE Banka 1889-1964) *				
少年像	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	71.8×37.7	木崎みさを氏寄贈
川口 軌外 (かわぐち・きがい KAWAGUCHI Kigai 1892-1966) *				
裸婦群像	1925 (大正 14) 頃	油彩、キャンバス	88.2×94.1	川口京村氏寄贈
カフェにて	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	79.0×64.0	個人蔵
佐伯 祐三 (さえき・ゆうぞう SAEKI Yuzo 1898-1928)				
広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	玉井一郎氏寄贈
カフェ・レストラン	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
児島 善三郎 (こじま・ぜんざぶろう KOJIMA Zenzaburo 1893-1962)				
カーニュ風景	1926 (大正 15/昭和元)	油彩、キャンバス	60.0×72.0	個人蔵
里見 勝蔵 (さとみ・かつぞう SATOMI Katsuzo 1895-1981)				
マダム Y.S.	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	64.7×53.0	個人蔵
木下 義謙 (きのした・よしのり KINOSHITA Yoshinori 1898-1996) *				
赤衣半身像	1931 (昭和 6)	油彩、キャンバス	91.4×73.0	作者寄贈
木下 雅子 (きのした・まさこ KINOSHITA Masako 1905-1936)				
玉葱の静物	1930 (昭和 5)	油彩、キャンバス	60.0×73.5	木下義謙氏寄贈
村井 正誠 (むらい・まさなり MURAI Masanari 1905-1999) *				
パンチュール (赤い帽子)	1931 (昭和 6) 頃	油彩、キャンバス	72.5×90.9	作者寄贈
石井 鶴三 (いしい・つるぞう ISHII Tsuruzo 1887-1973)				
俊寛頭部試作	1930 (昭和 5) / 铸造年不詳	ブロンズ	高さ 30.0	
建畠 大夢 (たてはた・たいむ TATEHATA Taimu 1880-1942) *				
感に打たれた女	1932 (昭和 7) / 铸造年不詳 (生前铸造)	ブロンズ	高さ 161.0	
佐伯 祐三 (さえき・ゆうぞう SAEKI Yuzo 1898-1928)				
下落合風景	1926 (大正 15/昭和元) 頃	油彩、キャンバス	49.7×60.4	玉井一郎氏寄贈
曾宮 一念 (そみや・いちねん SOMIYA Ichinen 1893-1994)				
青色の静物	1926 (大正 15)	油彩、キャンバス	60.5×45.3	
萬 鉄五郎 (よろず・てつごろう YOROZU Tetsugoro 1885-1927)				
風景	1922 (大正 11) 頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
古賀 春江 (こが・はるえ KOGA Harue 1895-1933)				
海水浴	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	91.3×117.0	
林 武 (はやし・たけし HAYASHI Takeshi 1896-1975)				
神戸風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	45.8×61.0	花岡俊幸氏寄贈
木下 孝則 (きのした・たかのり KINOSHITA Takanori 1894-1973) *				
女優の像	1926 (大正 15/昭和元)	油彩、キャンバス	91.2×72.9	
三岸 好太郎 (みぎし・こうたろう MIGISHI Kotaro 1903-1934)				
バラの静物	1928 (昭和 3) 頃	油彩、キャンバス	45.5×38.0	個人蔵
梅原 龍三郎 (うめはら・りゅうざぶろう UMEHARA Ryuzaburo 1888-1986)				
静浦 (口野) 風景	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	60.8×50.1	篠田博之氏、篠田めぐみ氏寄贈
原 勝四郎 (はら・かつしろう HARA Katsushiro 1886-1964) *				
画工像	1932 (昭和 7)	油彩、厚紙	65.0×52.6	
高井 貞二 (たかい・ていじ TAKAI Teiji 1911-1986) *				
感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0	作者寄贈

国吉 康雄 (くによし・やすお KUNIYOSHI Yasuo 1889-1953)				
乳しぼり	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	
清水 登之 (しみず・とし SHIMIZU Toshi 1887-1945)				
ヨコハマ・ナイト	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	76.2×96.5	
石垣 栄太郎 (いしがき・えいたろう ISHIGAKI Eitaro 1893-1958) *				
街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	
浜地 清松 (はまじ・せいまつ HAMAJI Seimatsu 1885-1947) *				
暖炉	1911 (明治 44)	油彩、キャンバス	102.2×82.1	

第4章 風景の意味 -日本を見つめる、東アジアを描く-

交通手段、そしてメディアの発達は、見たことのない、あるいは見てみたい場所に画家たちを誘います。日本、そして東アジアの風景から、風景が描かれた意味を探ります。

平塚 運一 (ひらつか・うんいち HIRATSUKA Un'ichi 1895-1997)

近江八景 唐崎 1927 (昭和 2) 木版、紙 22.7×33.3/26.2×38.6

森田 恒友 (もりた・つねとも MORITA Tsunetomo 1881-1933)

『日本風景版画』第二輯 会津之部

若松城趾-城内農夫の草刈	1917 (大正 6)	木版、紙	17.5×24.0/18.8×25.2
阿賀川-山都村附近の展望	1917 (大正 6)	木版、紙	17.4×24.0/18.7×25.1
桧原湖畔-桧原村端より対岸を望む	1917 (大正 6)	木版、紙	24.0×17.6/25.3×18.9
川上温泉-湯宿附近の秋色	1917 (大正 6)	木版、紙	17.5×24.2/19.0×25.5
磐梯山麓小湖-小野川湖の一部	1917 (大正 6)	木版、紙	17.5×24.0/18.8×25.3

坂本 繁二郎 (さかもと・はんじろう SAKAMOTO Hanjiro 1882-1969)

『日本風景版画』第六輯筑紫之部

榎寺神社-都府樓方面より望む	1918 (大正 7)	木版、紙	17.0×23.8/18.1×24.9
神の湊-玄海灘を遠望	1918 (大正 7)	木版、紙	16.7×23.8/18.2×24.8
水繩山-小森野より望む	1918 (大正 7)	木版、紙	16.8×23.6/18.0×24.8
筑後川-久留米附近	1918 (大正 7)	木版、紙	17.0×24.0/18.1×25.0
火の海-沖の端より望む	1918 (大正 7)	木版、紙	16.8×23.8/18.1×25.0

広島 鋤花 (ひろはた・じょか HIROHATA Joka 1890-1981) *

『紀伊百景画帖』 「橋杭」	1927 (昭和 2) ~1929 (昭和 4)	頃 顔料、絹	28.9×37.1
「西向 重疊山」	1927 (昭和 2) ~1929 (昭和 4)	頃 顔料、絹	28.9×37.1
「瀨峡」	1927 (昭和 2) ~1929 (昭和 4)	頃 顔料、絹	28.9×37.1
「瀨峡 蓬莱山」	1927 (昭和 2) ~1929 (昭和 4)	頃 顔料、絹	28.9×37.1

国枝 金三 (くにえだ・きんぞう KUNIEDA Kinzo 1886-1943)

紀州風景 1919 (大正 8) 油彩、キャンバス 45.6×53.6 国枝ぬい氏寄贈

保田 龍門 (やすだ・りゅうもん YASUDA Ryumon 1891-1965) *

風景 1918 (大正 7) 油彩、キャンバス 46.0×60.8 保田春彦氏寄贈

原 勝四郎 (はら・かつしろう HARA Katsushiro 1886-1964) *

風景 (番所鼻) 1932 (昭和 7) 油彩、ボード 52.2×64.8 木原達夫氏寄贈

藤島 武二 (ふじしま・たけじ FUJISHIMA Takeji 1867-1943)

潮岬の灯台 1931 (昭和 6) 頃 油彩、キャンバス 22.0×44.0 個人蔵

国枝 金三 (くにえだ・きんぞう KUNIEDA Kinzo 1886-1943)

島の四月 1917 (大正 6) 油彩、キャンバス 65.2×80.4 国枝ぬい氏寄贈

中川 八郎 (なかがわ・はちろう NAKAGAWA Hachiro 1877-1922)					
風景	1919 (大正 8)	油彩、キャンバス	60.5×72.2	杭ノ瀬雅文氏寄贈	
神中 糸子 (じんなか・いとこ JINNAKA Itoko 1860-1943) *					
妙義山	1918 (大正 7)	油彩、キャンバス	60.8×50.0		
永礼 資朗 (ながれ・しろ NAGARE Shiro 1901-1975)					
大島風景	1928 (昭和 3)	木版、紙	13.8×11.4		
鶴田 吾郎 (つるた・ごろう TSURUTA Goro 1890-1969)					
[伊豆大島にて]	1916 (大正 5)	木版、紙	28.7×20.7/34.3×25.3		
林 義明 (はやし・よしあき HAYASHI Yoshiaki 1890-1978) *					
伊豆大島小景	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	45.8×60.9	林建樹氏寄贈	
保田 龍門 (やすだ・りゅうもん YASUDA Ryumon 1891-1965) *					
潮風にもまれた椿	1914~16 (大正 3~5) 頃	油彩、キャンバス	60.9×46.1		
島の砂丘	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	45.7×60.7		
永瀬 義郎 (ながせ・よしろう NAGASE Yoshiro 1891-1978)					
『東洋の旅』 「上海所見」	1929 (昭和 4)	木版、紙	30.5×22.5/32.4×23.6		
「香港夜景」	1930 (昭和 5)	木版、紙	22.0×28.5/23.7×30.2		
山本 鼎 (やまもと・かなえ YAMAMOTO Kanae 1882-1946)					
支那婦人	1917 (大正 6)	木版、紙	30.0×24.5/31.8×26.2		
逸見 享 (へんみ・たかし HENMI Takashi 1895-1944) *					
上海風景	1928 (昭和 3)	木版、紙	24.0×30.8/28.6×35.4	逸見渚氏、逸見京子氏寄贈	
街角	1929 (昭和 4)	木版、紙	15.0×12.1/16.4×13.3	逸見渚氏、逸見京子氏寄贈	
大久保 一 (おおくぼ・はじめ OKUBO Hajime 1911-1991)					
支那芝居	1933 (昭和 8) 頃	木版、紙	16.2×22.5/17.7×24.2	大久保千代氏寄贈	
奉天浪速通風景	1932 (昭和 7)	木版、紙	14.2×16.3/17.0×18.5	大久保千代氏寄贈	
車軸の折れた馬車 (鐵西風景)	1932 (昭和 7)	木版、紙	16.9×30.3/17.5×31.0	大久保千代氏寄贈	
蒙古人の想	1933 (昭和 8) 頃	木版、紙	27.2×24.5	大久保千代氏寄贈	
野長瀬 晩花 (のながせ・ばんか NONAGASE Banka 1889-1964) *					
路傍青物市	1932 (昭和 7) 頃	顔料、紙	27.2×48.2	野長瀬婉子氏寄贈	
保田 龍門 (やすだ・りゅうもん YASUDA Ryumon 1891-1965) *					
満州風景	1931 (昭和 6)	油彩、キャンバス	46.0×53.2	保田淳子氏寄贈	